

(様式3)

## 令和3年度 指定管理業務の評価表

### 1 施設概要

施設名	障がい児放課後等支援施設 フレンズ	所在地	伊勢市御園町長屋2767
指定管理者名	認定NPO法人ときわ会 藍ちゃんの家	指定期間	令和2年4月1日から令和5年3月31日まで
設置目的	障がい児または障がい者の日中活動の場の提供		
業務内容	【伊勢市障がい児放課後等支援施設フレンズの管理業務を行う】 ・伊勢市内に住所を有し、小中学校または三重県内の特別支援学校に在籍する障がい児、または障がい者に対し、日中活動の場を提供するとともに、家族等の介護負担の軽減を図る。 ・日中活動の場を提供するなかで、他の障がい児、障がい者、支援員等と交流することで、障がい児の健全育成に資するよう努める。		
施設概要	ハートプラザみその1階 (療育室、静養室、便所 延床面積:112.5㎡)		
職員体制	管理者1名、支援員7名、運転手3名		
施設所管課名	高齢・障がい福祉課		

### 2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	比較(C-B)	
事業 収支	収入	指定管理料	5,603,000	5,603,000	0	
		利用料金	5,868,670	8,295,250	2,426,580	
		その他	101,819	184,247	82,428	
		計(a)	0	11,573,489	14,082,497	2,509,008
	支出	人件費	9,287,531	10,635,840	1,348,309	
		管理運営費	1,919,411	2,077,191	157,780	
		その他	381,889	542,179	160,290	
		計(b)	0	11,588,831	13,255,210	1,666,379
	収支差引額(a)-(b)		0	△ 15,342	827,287	842,629

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	1. 利用料金: 昨年度から自宅送りサービスを開始し、また利用人数が前年度より年間513人増加による 2. 人件費: 利用人数増加(一日平均利用人数: 2.1人増加)による支援員の増加による
----------------------------------	--

### 3 評価 (別表様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
<p>事業計画に添った管理業務を行った。</p> <p>『ハートプラザみその』に移設して2年目となり、利用児にとり、より過ごしやすい居場所となるよう、室内トイレの改修工事を実施した。和式トイレにポータブルトイレを設置した仮洋式から洋式トイレ、またドアも引き戸に改修、新たに手すりを設置し、より安全で過ごしやすい環境を整えることで、利用児の日々の安心感につながった。</p> <p>新型コロナウイルス感染防止対策として、昨年度に引き続き、マスク着用、手洗いうがい、こまめなアルコール消毒を基本とし、定期的な換気から常時換気に切り換え、食事前後のテーブル消毒や外部からの来所者の制限等を徹底した。</p> <p>日常の支援においては、利用児1人1人のスキルや課題に合わせ、生活力の向上につながる個別活動の充実を図った。また、年間行事を実施し、利用児同士の間わりや季節を感じられる機会とした。</p>	<p>施設の設置目的を理解し、管理運営については適正に行われていた。</p> <p>利用者及び家族のニーズに応じて、よりよい環境を整えるような事業展開を心がけ、障がい児福祉増進に努めていたので評価できる。</p> <p>今後も、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、利用者が安心安全して利用できるように事業を展開していただきたい。</p>

(様式4)

## 指定管理業務の項目別評価表

施設名

伊勢市障がい児放課後等支援施設フレンズ

評価項目		評価					
		指定管理者		市			
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由		
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	A	施設の目的や基本方針を十分理解し管理を行った。	A	施設の目的や基本方針を理解し、管理運営に努めた。		
	②施設設置目的の達成度	A	管理運営を通して、障がい児または障がい者へ日中活動の場を提供し、健全育成に資することができた。	A	施設の利用状況、管理状況から、施設の設置目的は達成されている。		
	③利用者数	A	年度内に利用登録者数が増加し、一人当たりの利用回数も増加した。	A	利用者数は増加しており、目標は達成されている。		
	④運営状況	A	事業計画書のとおり供用日数・時間を達成した。	A	事業計画書に計画された運営が行われ、適正な施設運営が実施された。		
	⑤職員の配置状況・勤務実績	A	作業責任者・業務担当者を設定し、適正な配置・勤務が取れた。	A	職員の配置状況、勤務実績は適正であった。		
	⑥意思疎通	B	毎月の業務報告や市の担当者と適宜打ち合わせをしたが、漏れていた事項もあった。業務報告の内容を適切に、より密に連絡を取り合い、調整していく。	A	運営業務全般において、伊勢市と協議しながら業務を遂行された。		
	⑦各種管理記録等の整備・保管	A	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	A	各種の記録については、適正に整備保管されており、月報・年報にて報告がされている。		
	⑧地域の振興	B	地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図れていたか。	B	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標達成には至らなかった。		
	⑨使用許可等			-			
	⑩利用料金等の徴収状況	A	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。	A	帳簿は漏れなく適正に作成されていた。		
	⑪個人情報	A	個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。	A	個人情報の取扱いについては、適切に行った。	A	個人情報漏洩などの問題も発生しておらず、個人情報は適切に取扱いされていた。
	⑫法令遵守	A	関係法令を遵守していたか。	A	各種法令を理解し、遵守した。	A	法令違反は見受けられない。

(様式4)

## 指定管理業務の項目別評価表

施設名

伊勢市障がい児放課後等支援施設フレンズ

評価項目		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	A	ホームページで施設の紹介をするとともに、相談事業所へのパンフレット配布により、施設の周知を図り、新規利用者の獲得につなげた。	A	利用者数は増加しており、目標は達成されている。
	②利用者の平等な利用	A	情報共有ノートを活用し、スタッフ間で情報共有するとともに、月1回のミーティングで利用者の支援や行事について話し合った。	A	期待されるサービス水準を達成していた。
	③適切な情報提供	A	全ての利用者が情報を得ることができるよう適切な利用情報の提供を行なったか。	A	適正な利用情報の提供が実施されていた。
	④非常時・緊急時の対応	A	緊急時のマニュアルが整備され、従業員訓練の実施や事故発生時・緊急時の対応は適切か。	A	緊急時マニュアルの整備、利用者も含めた避難訓練の実施など、適切に実施されていた。
	⑤苦情解決体制及び対応	A	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	A	利用者からの意見、苦情等を受け、迅速かつ適切に対応できる体制が整っていた。
	⑥自主事業	A	利用者ニーズに即した自主事業が行なわれていたか。	A	利用者それぞれに合わせた支援を行うために、様々なプログラムの提示・提供を行った。
	⑦事業の評価	A	事業実施後に確認・見直しが行なわれ、次年度へつなげる取り組みがなされていたか。	A	月次、年次業務報告書を適切に作成、それらを元に次年度への課題を掲げ、次年度の事業へつなげている。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	A	定期的に施設の安全点検を行い記録にまとめている。	A	安全点検等を適切に行い、適宜報告されていた。
	②備品等の管理	A	備品の管理・点検・保守は適切に行なわれていたか。	A	備品について丁寧に扱い、破損や紛失等はなかった。
	③修繕業務	A	点検によって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。	A	異常があった場合は、速やかに伊勢市に報告を行った。またそれらを記録した。
	④清掃業務	A	清掃は適切に行なわれていたか。	A	日々の清掃、週末の清掃、大掃除など事前に立てた予定どおり清掃を行った。
	⑤防犯体制	A	鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切だったか。	A	退勤時には当番を決めて戸締りを行い、防犯に関する問題はなかった。